

校外研修Ⅱ

（授業概要）

校外研修を通して、学校外場で実体験を通して学びを深め、知的好奇心や主体性を育むとともに、社会のマナーや集団行動を学ぶ。

生体に関わる職業において必要な生体ごとの特徴や飼育・展示方法を学び、生体を理解するとともに、将来、生体に関わる仕事において、お客様への情報提供やサービス、接客にて役立つ知識として学ぶことを目的とする。

1年次に学んだことを踏まえて、実際に社会に出るなら、どのような場所で何をしたいのかを自発的に考えて、自主性、困難に立ち向かう力、自信、自己肯定感を高めることを目指します。

科目	通信制学科	教員	長岡
コース	通信 2	教員の実務経験	×
対象年次	2 年	年間単位時間	35 コマ

目標

前期

- ・動物園や水族館などの、学校外の施設で実物を見たり、飼育員の講話を聞いたりすることで、教科書だけでは得られない知識や見聞を広げて、生体への興味関心を高める。
- ・公共の場での行動やグループ活動を通して、他者を思いやる気持ちや、ルールやマナーを守ることの大切さを学び、社会性や協力する力を身につける。
- ・卒業研究演習に活かして、題材に基づいて、情報収集かつ自分なりの方法で答えを得る。

後期

- ・動物園や水族館などの、学校外の施設で実物を見たり、飼育員の講話を聞いたりすることで、教科書だけでは得られない知識や見聞を広げて、生体への興味関心を高める。
- ・公共の場での行動やグループ活動を通して、他者を思いやる気持ちや、ルールやマナーを守ることの大切さを学び、社会性や協力する力を身につける。
- ・卒業研究演習に活かして、題材に基づいて、情報収集かつ自分なりの方法で答えを得る。

授業計画

- 1回 校外研修①
- 2回 校外研修①
- 3回 校外研修①
- 4回 校外研修①
- 5回 校外研修①
- 6回 校外研修①
- 7回 校外研修①
- 8回 校外研修②
- 9回 校外研修②

10回	校外研修②
11回	校外研修②
12回	校外研修②
13回	校外研修②
14回	校外研修②
15回	校外研修③
16回	校外研修③
18回	校外研修③
19回	校外研修③
20回	校外研修③
21回	校外研修③
22回	校外研修④
23回	校外研修④
24回	校外研修④
25回	校外研修④
26回	校外研修④
27回	校外研修④
28回	校外研修④
29回	校外研修⑤
30回	校外研修⑤
31回	校外研修⑤
32回	校外研修⑤
33回	校外研修⑤
34回	校外研修⑤
35回	校外研修⑤

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
関西圏の動物園・水族館の見学・講話参加 神戸近隣の河川で生体採取 生体を販売・管理する施設見学・職業体験

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
校外研修ごとでの課題提出をもって出席とする。

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

自主学習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

なし

哺乳類飼育概論・実習Ⅱ

(授業概要)

飼育棟や地下水族館などにおいて、小動物や家畜動物、水生生物に関する知識を応用とした飼育実践を行う。掃除・給餌・健康チェック・ケア・設備管理といった基礎を実施する。

科	通信制学科	きょういん 教員	金田・竹内
コース	通信2	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2コマ

目標

前期

飼育管理における、掃除・給餌・健康チェック・ケア・設備管理を理解し身につける。危険予測をおこない、常に万が一のことを考えて行動することができるようになる。一緒に活動するメンバーとコミュニケーションをとり、報告・連絡・相談ができるようになる。

後期

前期に身につけた知識および技術を応用し更に良い飼育環境をつくるために考え行動することができる。

授業計画

- 1回 生体管理についての説明
- 2回 消毒液について
- 3回 生体管理のポイントについて
- 4回 生体管理実習
- 5回 生体管理実習について①
- 6回 生体管理実習について②
- 7回 生体管理実習について③
- 8回 生体管理実習
- 9回 生体管理実習について④
- 10回 生体管理実習について⑤
- 11回 生体管理実習について⑥
- 12回 生体管理実習
- 13回 生体管理実習について⑦
- 14回 生体管理実習について⑧
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験返却・解説
- 17回 生体管理実習
- 18回 生体管理実習について⑨

19 回 生体管理実習について⑩
20 回 生体管理実習
21 回 生体管理実習について⑪
22 回 生体管理実習について⑫
23 回 生体管理実習について⑬
24 回 生体管理実習について⑭
25 回 生体管理実習
26 回 生体管理実習について⑮
27 回 生体管理実習について⑯
28 回 生体管理実習
29 回 生体管理実習について⑰
30 回 生体管理実習について⑱
31 回 生体管理実習
32 回 後期期末試験
33 回 後期期末試験返却・解説
34 回 生体管理実習について⑲
35 回 生体管理実習について⑳

講義・生体管理実践

きょうざい
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

エキゾチックアニマル飼育管理概論・実習Ⅱ

（授業概要）

動物を扱う仕事（ペットショップ、動物保護スタッフ、ふれあい施設スタッフ）の上で必要な動物飼育方法を身につけるために、両生爬虫類エリアの両生爬虫類のハンドリング方法や健康チェック方法、動物のケージの掃除等を実際にやりながら学び、習得する。

科	通信制学科	教員	竹内
コース	通信 2	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

両生爬虫類エリアの使い方や動物の特徴、飼育管理方法について学び、1つ1つの作業の必要性を理解した上で2時間以内に作業を終わらせる

後期

グループ内でその日の目標と反省を行いながら作業をすすめ、自分の頭で考えながら飼育管理を行う。

授業計画

- 1回 飼育実習
- 2回 課題対応
- 3回 課題対応
- 4回 飼育実習
- 5回 課題対応
- 6回 課題対応
- 7回 課題対応
- 8回 飼育実習
- 9回 課題対応
- 10回 課題対応
- 11回 課題対応
- 12回 飼育実習
- 13回 課題対応
- 14回 課題対応
- 15回 課題対応
- 16回 課題対応
- 17回 飼育実習
- 18回 課題対応
- 19回 課題対応

20回 飼育実習
21回 課題対応
22回 課題対応
23回 課題対応
24回 課題対応
25回 飼育実習
26回 課題対応
27回 課題対応
28回 飼育実習
29回 課題対応
30回 課題対応
31回 飼育実習
32回 課題対応
33回 課題対応
34回 課題対応
35回 課題対応

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実演、実習

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

課題等の提出等や授業態度にて採点。

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

課題等で出される生体について別途調べる等。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

ペットショップスタッフとして爬虫類などの飼育・治療等に従事。

水族飼育概論・実習Ⅱ

(授業概要)

水族館職員や、ペットショップスタッフ等を目指す中で魚類を基本とした飼育をできるようにする。生体の飼育方法だけでなく、飼育用品の使い方等を実践しながら学ぶ。授業では、地下の水槽で管理をしながら、説明および実践を行う。

科	通信制学科	きょういん 教 員	竹内
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

目 標

前期

飼育生体の管理方法や現在使用している用品の取り扱いができるようになる。

後期

新規導入生体の提案や、レイアウト等の作成等を行えるようになる。

授 業 計 画

- 1 回 飼育実習
- 2 回 課題対応
- 3 回 課題対応
- 4 回 飼育実習
- 5 回 課題対応
- 6 回 課題対応
- 7 回 課題対応
- 8 回 飼育実習
- 9 回 課題対応
- 10 回 課題対応
- 11 回 課題対応
- 12 回 飼育実習
- 13 回 課題対応
- 14 回 課題対応
- 15 回 課題対応
- 16 回 課題対応
- 17 回 飼育実習
- 18 回 課題対応
- 19 回 課題対応

20回 飼育実習
21回 課題対応
22回 課題対応
23回 課題対応
24回 課題対応
25回 飼育実習
26回 課題対応
27回 課題対応
28回 飼育実習
29回 課題対応
30回 課題対応
31回 飼育実習
32回 課題対応
33回 課題対応
34回 課題対応
35回 課題対応

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実演、実習

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

課題等の提出等や授業態度にて採点。

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

課題等で出される生体について別途調べる等。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

ペットショップスタッフとして魚類などの飼育・治療等に従事。

卒業研究演習

（授業概要）

卒業論文・卒業制作の目的とは、著者自らが設定したテーマに沿って問題を提起し、自分なりの方法で答えを求めるものです。卒業研究は、そのような研究活動のプロセスを通じて自分自身で到達した結論を得ることを目的とする。

1 年次に学んだことを踏まえながら、研究分野の既存の知識に基づいて論理的推論が行えることを証明する。

科	通信制学科	教員	長岡
コース	通信 2	教員の実務経験	×
対象年次	2 年	年間単位時間	35 コマ

目標

前期

- ・校外研修を活かして、題材に基づいて、情報収集かつ自分なりの方法で答えを得る。
- ・参考文献をもとに、著者自らが設定したテーマに沿って問題を提起し、自分なりの方法で答えを求める。
- ・「情報を収集する力」「実験の技術」「論理的思考力・課題解決力」「プレゼンテーション力」を習得するために、定められた時間内で取り組む。

後期

- ・校外研修を活かして、題材に基づいて、情報収集かつ自分なりの方法で答えを得る。
- ・参考文献をもとに、著者自らが設定したテーマに沿って問題を提起し、自分なりの方法で答えを求める。
- ・「情報を収集する力」「実験の技術」「論理的思考力・課題解決力」「プレゼンテーション力」を習得するために、定められた時間内で取り組む。
- ・自身の研究だけでなく、生体に関わる現代社会への貢献も意識する。

授業計画

- 1 回 自己紹介+アイスブレイク
- 2 回 卒業研究演習とは？①
- 3 回 卒業研究演習とは？②
- 4 回 テーマ決め・研究の目的決定
- 5 回 研究の背景・問題提起
- 6 回 卒業研究①
- 7 回 卒業研究②
- 8 回 卒業研究③
- 9 回 卒業研究④
- 10 回 卒業研究⑤

- 11 回 卒業研究⑥
- 12 回 卒業研究⑦
- 13 回 卒業研究⑧
- 14 回 卒業研究⑨
- 15 回 卒業研究⑩
- 16 回 中間報告・発表①
- 18 回 卒業研究⑪
- 19 回 卒業研究⑫
- 20 回 卒業研究⑬
- 21 回 卒業研究⑭
- 22 回 卒業研究⑮
- 23 回 卒業研究⑯
- 24 回 卒業研究⑰
- 25 回 卒業研究⑱
- 26 回 卒業研究⑲
- 27 回 卒業研究⑳
- 28 回 中間報告・発表②
- 29 回 卒業研究㉑
- 30 回 卒業研究㉒
- 31 回 卒業研究㉓
- 32 回 卒業研究㉔
- 33 回 卒業研究 発表①
- 34 回 卒業研究 発表②
- 35 回 卒業研究 フィードバック・評価発表

授業の方法

自主研究

教材

教科書・文献

評価の方法

発表・提出資料 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

自主研究

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

なし

エキゾチックアニマルⅡ

（授業概要）

ペットとして人気になりつつあるチンチラ、デグー、ハリネズミなどの分類や生態、特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	通信制学科	教員	伊勢
コース	通信 2	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35

目標

前期

チンチラ・デグー・ハリネズミの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

後期

フクロモモンガ・プレーリードッグ・リチャードソンジリス・シマリスの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

授業計画

- 1 回 チンチラについて（分類、歴史）
- 2 回 チンチラについて（体の特徴）
- 3 回 チンチラについて（生理的な特徴）
- 4 回 チンチラについて（飼育方法）
- 5 回 チンチラについて（繁殖、病気）
- 6 回 デグーについて（分類、歴史）
- 7 回 デグーについて（体の特徴）
- 8 回 デグーについて（生理的な特徴）
- 9 回 デグーについて（飼育方法）
- 10 回 デグーについて（繁殖、病気）
- 11 回 ハリネズミについて（分類、歴史）
- 12 回 ハリネズミについて（体の特徴）
- 13 回 ハリネズミについて（生理的な特徴）
- 14 回 ハリネズミについて（飼育方法）
- 15 回 前期期末試験(実施)
- 16 回 前期期末試験(返却・解説)
- 17 回 ハリネズミについて（繁殖、病気）
- 18 回 フクロモモンガについて（分類、歴史）
- 19 回 フクロモモンガについて（体の特徴）

- 20 回 フクロモモンガについて（生理的な特徴）
- 21 回 フクロモモンガについて（飼育方法）
- 22 回 フクロモモンガについて（繁殖、病気）
- 23 回 プレーリードッグについて（分類、歴史）
- 24 回 プレーリードッグについて（体の特徴・生理的な特徴）
- 25 回 プレーリードッグについて（飼育方法）
- 26 回 プレーリードッグについて（繁殖、病気）
- 27 回 リチャードソン・ジリスについて（分類、歴史）
- 28 回 リチャードソン・ジリスについて（体の特徴・生理的な特徴）
- 29 回 リチャードソン・ジリスについて（飼育方法）
- 30 回 シマリスについて（分類、歴史）
- 31 回 シマリスについて（体の特徴・生理的な特徴）
- 32 回 後期期末試験(実施)
- 33 回 後期期末試験(返却・解説)
- 34 回 シマリスについて（飼育方法）
- 35 回 シマリスについて（繁殖、病気）

授業の方法

自主学習

教材

自作プリント

評価の方法

毎回の授業の課題の提出をもって出席とする。前後期期末課題の提出

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

HR

（授業概要）

接客や社会人の基本となるビジネスマナーを身に着ける。

インターン実習や業界理解のための時間とする。

愛玩動物看護師の国家資格取得に向け、試験勉強の方法や問題演習を行う。

科	通信制学科	教員	長岡
コース	通信 2	教員の実務経験	×
対象年次	2 年	年間単位時間	35

目標

前期

動物に関する職業に就く際の心構えを習得し、動物業界を理解できるようになる。

立ち方やお辞儀の仕方などの所作を身につける。

敬語(丁寧、謙譲語、尊敬語)の差別化をして理解し話せるようになる。就職活動やインターンシップでの重要となる書類である履歴書とお礼状。

この2つの書き方やマナーを知り、正しく書けるようになる事。

クラスの一致団結を深める・必要に応じて行事の準備の時間にあてる。

電話対応など全般的なビジネスマナーを習得する。

後期

スーツの着方(男性の場合は身だしなみやネクタイの結び方など、女性の場合も身だしなみやアクセサリなど)の間違いと正解を区別できるようになる。

現代の最新のビジネスマナーでもあるリモートワークマナーを知る。

席次(上座と下座)、名刺交換の基本を理解し実践ができるようになる。

授業計画

- 1 回 自己紹介(自分の長所、短所、趣味など面接でよく聞かれる項目も入れて発表を行う)
- 2 回 学校でのエレベータの使い方、受付の利用の仕方、校舎見学、
- 3 回 動物との接し方・動物業界を知る
- 4 回 ホウレンソウ、5W3H について、人間関係のマナー・実践
- 5 回 ビジネス用語(基本・求人・動物業界特有も含む)
- 6 回 ビジネス会話の基本(敬語について、定番の言い回し、クッション言葉)・実践
- 7 回 会社での挨拶の仕方、立ち方、お辞儀の基本、椅子の座り方、入退室の基本。・実践
- 8 回 電話対応・実践回 ビジネス文章(紙・メール)・実践
- 9 回 電話対応
- 10 回 求人票の見方
- 11 回 履歴書の書き方・実践
- 12 回 夏休みの過ごし方・勉強の仕方について

- 13 回 前期末試験
- 14 回 試験返却・フィードバック
- 15 回 動物看護師を目指すにあたり、後期からの勉強方法について
- 16 回 お礼状の書き方・実践
- 17 回 封筒の書き方・送り方
- 18 回 名刺交換・実践 席次
- 19 回 会社での役職と序列・雇用形態
- 20 回 企業セミナーを受けるにあたり動物業界を目指すための心構え(身だしなみ)
- 21 回 面接対策・履歴書添削
- 22 回 面接対策・履歴書添削
- 23 回 面接対策・履歴書添削
- 24 回 面接対策・履歴書添削
- 25 回 面接対策・履歴書添削
- 26 回 ビジネスマナー全般の総復習
- 27 回 面接対策・履歴書添削
- 28 回 面接対策・履歴書添削
- 29 回 面接対策・履歴書添削
- 30 回 面接対策・履歴書添削
- 31 回 面接対策・履歴書添削
- 32 回 面接対策・履歴書添削
- 33 回 模擬面接①
- 34 回 模擬面接②
- 35 回 模擬面接フィードバック

* 随時面談をして学生をフォローしていく

授業の方法

講義、問題演習、実践

教材

なし

評価の方法

模擬面接 80%、授業態度 20%

授業外での学習方法

校内やプライベートでも意識して実践をする。

例えばエレベータにて席次を意識して乗る事。先生やアルバイト先の先輩・店長など常日頃、敬語(丁寧語、尊敬語)を意識して話すなど。

国家資格受験に向け日ごろから他教科の復習を行う習慣をつける。

実務経験と授業科目の関係

なし

就職対策

(授業概要)

就職する為に必要なスキル(履歴書作成・自己アピール・面接マナー)を学び、実践することで、自信をもって就職活動に取り組むことが出来るようになる。また、就職後に注意すべきマナーや仕事に対する取り組み姿勢について学習することで、社会人として職場に定着するための能力を涵養する。

か 科	通信制学科	きょういん 教 員	姉崎
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

就職活動を行ううえで必須となる履歴書作成ならびに自己アピールのポイント、面接マナーを学ぶことで、選考を受ける際に気を付けるべき点を知ることができる。

後期

就職試験における筆記試験への対策として、SPI 試験の練習課題に取り組み、出題様式を知ることができる。就職後のキャリア形成に必要なビジネスマナーや教養を身に着けることができる。

授 業 計 画

- 1 回 自己紹介、授業の進行について
- 2 回 企業研究とは
- 3 回 企業が求めている人材とは
- 4 回 インターンシップの重要性
- 5 回 履歴書の書き方① 基本情報の書き方
- 6 回 履歴書の書き方② 自己 PR
- 7 回 履歴書の書き方③ 志望動機
- 8 回 履歴書の書き方④ まとめ
- 9 回 SPI 試験について①
- 10 回 面接マナーについて①
- 11 回 面接マナーについて②
- 12 回 面接での対話・所作①
- 13 回 面接での対話・所作②
- 14 回 面接での対話・所作③
- 15 回 前期期末課題
- 16 回 前期期末課題返却
- 17 回 社会人としてのふるまいについて①
- 18 回 社会人としてのふるまいについて②

- 19回 ビジネスマナー①
- 20回 ビジネスマナー②
- 21回 ビジネスマナー③
- 22回 ビジネスマナー④
- 23回 離職について
- 24回 人間関係について
- 25回 モチベーションを維持する為には
- 26回 仕事を円滑に進める為には①
- 27回 仕事を円滑に進める為には②
- 28回 仕事を円滑に進める為には③
- 29回 ブラック企業について
- 30回 就職先としての動物業界について
- 31回 クレームへの対応
- 32回 アンガーマネジメントについて
- 33回 後期期末課題
- 34回 後期期末課題返却
- 35回 就職後のキャリア形成について

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、室内演習

きょうざい
教材

必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう
評価の方法

期末試験 80%、授業態度・出席率 20%

じゅぎょうが い がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

TPO に応じた振る舞い、言葉づかいを意識しながら過ごす。

じつむけいけん じゅぎょうか もく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

飼育用品学概論Ⅱ

(授業概要)

ペットショップ・アニマルカフェなどの施設において生体管理をする上で使用する機材また道具の基本的な 使用方法を学習する。また、メーカーごとの特徴や用品のアレンジ方法なども理解する。

科	通信制学科	きょういん 教 員	津田
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

ペットショップで取り扱われている用品全般の特徴や使用方法、注意点などを把握できるようになる

後期

生体ごとの適している物などについて理解をし、話せるようになる

授 業 計 画

- 1 回 課題 飼育用品とは
- 2 回 課題 用品説明・ケージについて
- 3 回 課題 用品説明・ケージについて
- 4 回 課題 用品説明・サークルについて
- 5 回 課題 用品説明・サークルについて
- 6 回 課題 用品説明・ベッドについて
- 7 回 課題 用品説明・給水器について
- 8 回 課題 用品説明・給水機について
- 9 回 課題 用品説明・食器について
- 10 回 課題 用品説明・食器について
- 11 回 課題 小テスト
- 12 回 課題 小テストの結果
- 13 回 課題 前期の振り返り
- 14 回 前期期末試験の対策
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験の結果発表
- 17 回 課題 トイレトレイについて
- 18 回 課題 トイレトレイについて
- 19 回 課題 ペットシーツについて
- 20 回 課題 ペットシーツについて
- 21 回 課題 犬用のおもちゃについて
- 22 回 課題 犬用のおもちゃについて
- 23 回 課題 猫用のおもちゃについて
- 24 回 課題 猫用のおもちゃについて

25 回	課題	猫の爪とぎについて
26 回	課題	猫の爪とぎについて
27 回	課題	首輪について
28 回	課題	首輪について
29 回	課題	胴輪について
30 回	課題	胴輪について
31 回	課題	犬猫の生体について
32 回	後期期末試験	
33 回	後期期末試験の結果発表	
34 回	課題	1 年の振り返り
35 回	課題	1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
課題配布

きょうざい 教材
資料配布

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅうせきりつ じゅぎょうたいど 期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

コンピューター実習Ⅱ

(授業概要)

動物に関わる全ての職業に共通したP Cスキル（Word 基礎、Excel 基礎、PowerPoint 基礎を学び、レポート作成及び、卒業研究発表で用いるプレゼン資料作成）を修得する。

科	通信制学科	きょういん 教 員	伊藤
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

目 標

前期

- ・ Word の基本操作に慣れ、自身で文章作成、レポート・報告書作成が出来るようになる。

後期

- ・ Excel の基本操作に慣れ、表の作成、初歩的な関数、グラフ作成、データ管理の基礎を身につける。
- ・ PowerPoint の基本操作に慣れ、簡易的なプレゼン資料の作成と発表が出来るようになる。

授 業 計 画

- 1 回 PC の基礎知識の確認
- 2 回 ネットリテラシーについて
- 3 回 MicrosoftOffice と Google アプリの種類と違いに関して
- 4 回 【Word】スキルチェック
- 5 回 【Word】文書作成(日付、挨拶文挿入、フォント変更など)に必要なスキルを習得する。
- 6 回 【Word】文書作成演習①
- 7 回 【Word】グラフィック機能(ワードアート・画像の挿入、文字の効果設定など)を理解する。
- 8 回 【Word】グラフィック機能演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。
- 9 回 【Word】表のある文書作成(表の作成、レイアウト変更、表の書式設定など)を理解する。
- 10 回 【Word】表のある文書作成演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。
- 11 回 【Word】レポート作成演習①
- 12 回 【Word】レポート作成演習②
- 13 回 【Word】レポート作成演習③
- 14 回 【Word】レポート作成演習④
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験答案返却&解説
- 17 回 【Excel】スキルチェック
- 18 回 【Excel】データ入力、オートフィル演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。

関数(SUM、AVERAGE)の使い方、絶対参照を理解する。

19回 【Excel】表の書式設定、行や列の操作、印刷設定について理解する。

20回 【Excel】表作成演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。

21回 【Excel】表作成演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。

22回 【Excel】グラフ作成(グラフ機能概要、円グラフ、縦棒グラフなど)を理解する。

23回 【Excel】グラフ作成演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。

24回 【Excel】データ分析(データベース機能概要、テーブル変換、抽出方法など)を理解する。

25回 【Excel】データ分析演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。

26回 【Excel】データ分析演習。理解度を高めるため、練習問題の実施。

27回 【Excel】アプリ間データ共有の仕方を理解する。

28回 【PowerPoint】スキルチェック

29回 【PowerPoint】プレゼンテーションの作成(スライド挿入、箇条書きテキスト入力、構成変更、表の作成など)を理解する。

30回 【PowerPoint】画像や図形の挿入、SmartArt グラフィックの作成方法を理解する。

31回 【PowerPoint】スライドショーの実行方法を理解する。

32回 【PowerPoint】自己紹介プレゼン資料作成

33回 後期期末試験

34回 後期期末試験答案返却&解説

35回 1年の振り返り

授業の方法

実演，課題作成

教材

よくわかる Word2016 & Excel2016 & PowerPoint2016。

その他、必要に応じた資料をその都度使用。

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

課題作成を行い、自身で作成するスキルを向上。知らない知識や単語を調べる。

実務経験と授業科目の関係

あり。

コンパニオンドッグⅡ

(授業概要)

犬に関わる職業において必要な犬種ごとの特徴や対応を学び、犬を理解するとともに、将来の仕事において、お客様への情報提供やサービス、接客にて役立つ知識として学ぶ。また、実習において基礎知識を応用し、実際に犬と関わるうえで犬の扱い方、対応を実践としてつなげる。

科	通信制学科	きょういん 教 員	伊勢
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

主要犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

後期

主要以外の人気犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び、外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

授 業 計 画

- 1 回 グループ分け①(復習)
- 2 回 グループ分け②(復習)
- 3 回 グループ分け③(復習)
- 4 回 グループ分け④(復習)
- 5 回 グループ分け⑤(復習)
- 6 回 人気犬種 2 種(チャウチャウ、アイリッシュ・セター)
- 7 回 人気犬種 2 種(コーイケルホンディエ、ニューファンドランド)
- 8 回 人気犬種 2 種(グレート・デーン、スコティッシュ・テリア)
- 9 回 人気犬種 2 種(ホワイト・スイス・シェパード・ドッグ、ボロニーズ)
- 10 回 人気犬種 2 種(ワイヤー・フォックス・テリア、トイ・マンチェスター・テリア)
- 11 回 人気犬種 2 種(ブリュッセル・グリフォン、バセット・ハウンド)
- 12 回 人気犬種 2 種(オーストラリアン・シェパード、甲斐)
- 13 回 人気犬種 2 種(サルキー、オールド・イングリッシュ・シープドッグ)
- 14 回 人気犬種 2 種(ケアーン・テリア、日本テリア)
- 15 回 前期期末試験(実施)
- 16 回 前期期末試験(返却・解説)
- 17 回 課題
- 18 回 人気犬種 2 種(イングリッシュ・スプリングー・スパニエル)
- 19 回 人気犬種 2 種(ハバニーズ、四国)

- 20回 人気犬種2種(ウェルシュ・テリア、プチ・ブラバンソン)
- 21回 人気犬種2種(レオンベルガー、北海道)
- 22回 人気犬種2種(スキッパーキ、エアデール・テリア)
- 23回 人気犬種2種(バセンジー、レークランド・テリア)
- 24回 人気犬種2種(ノーリッチ・テリア、アラスカン・マラミュート)
- 25回 人気犬種2種(アフガン・ハウンド、ベルジアン・グリフォン)
- 26回 人気犬種2種(ベルジアン・シェパード・ドッグ・マリノア、紀州)
- 27回 人気犬種2種(スタッフォードシャー・ブル・テリア、ジャーマン・ピンシャー)
- 28回 人気犬種2種(ウェルッシュ・コーギー・カーディガン、ビアデッド・コリー)
- 29回 人気犬種2種(ケリー・ブル・テリア、シャー・ペイ)
- 30回 人気犬種2種(ミニチュア・アメリカン・シェパード、ポーチュギーズ・ウォーター・ドッグ)
- 31回 人気犬種2種(アイリッシュ・ウルフハウンド、ラサ・アプソ)
- 32回 後期期末試験(実施)
- 33回 後期期末試験(返却・解説)
- 34回 人気犬種2種(ボーダー・テリア、イタリアン・コルソ・ドッグ)
- 35回 人気犬種2種(ボルドー・マスティフ、チベタン・スパニエル)

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

自主学習

きょうざい
教材

まるごとわかる犬種図鑑

ひょうか ほうほう
評価の方法

毎回の授業の課題の提出をもって出席とする。前後期期末課題の提出

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

資格対策

(授業概要、目的)

サービス接遇検定 2 級の認定試験で合格する事。

試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。

サービス接遇検定⇒6 月上旬に認定試験開催⇒試験範囲(サービススタッフの資質/専門知識/一般知識/対人技能/実務技能)教材をもとに対策授業を行う。

か 科	通信制学科	きょういん 教 員	荻野
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	×
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんとたんいじかん 年 間 単 位 時 間	105

目 標

前期

- ・ サービス接遇検定 2 級取得を目指す。
- ・ 初歩的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

後期

- ・ サービス接遇検定準 1 級取得を目指す。
- ・ 実践的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

授 業 計 画

- 1 回 サービススタッフの資質
- 2 回 専門知識
- 3 回 一般知識
- 4 回 対人技能
- 5 回 実務技能
- 7 回 模擬試験(6/14 認定試験)
- 8 回 準 1 級取得に向けて
- 9 回 サービススタッフの資質
- 10 回 専門知識
- 11 回 一般知識
- 12 回 対人技能
- 13 回 実務技能
- 14 回 実技試験対策
- 15 回 実技試験対策
- 16 回 実技試験対策
- 17 回 実技試験対策
- 18 回 実技試験対策
- 19 回 実技試験対策
- 20 回 実技試験対策
- 21 回 実技試験対策

22 回 実技試験対策
23 回 実技試験対策
24 回 実技試験対策
25 回 実技試験対策
26 回 実技試験対策
27 回 実技試験対策
28 回 1 級取得に向けて
29 回 模擬試験
30 回 模擬試験
31 回 模擬試験
32 回 模擬試験
33 回 模擬試験
34 回 模擬試験
35 回 模擬試験

じゅぎょう ほうほう
授 業 の 方 法

自主学習

きょうざい
教 材

サービス接遇検定実問題集(2 級)

ひょうか ほうほう
評 価 の 方 法

きまつしけん 期末試験80% / じゅぎょうたいど 授 業 態 度 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授 業 外 で の 学 習 方 法

問題集を活用した試験対策

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実 務 経 験 と 授 業 科 目 の 関 係

○

動物基礎演習 II

(授業概要)

動物についての様々な知識を身に着けること、細胞学、生理学、生態学、遺伝学などの様々な視点から動物に理解することで人と動物の違いや今後の実習で動物を触る際の基礎知識を身に着ける。

科	通信制学科	教員	姉崎拓都
コース	通信 2	教員の実務経験	×
対象年次	2 年	年間単位時間	35×3 コマ

目標

前期

動物がどのような原理で活動しているのか、人間ベースや動物ベースなど様々な視点から知識を得ることで動物の生命維持や多様性を理解する。

後期

動物の行動、性質、その営みを知ることによって人との類似点、相違点を知り、動物と人間の共生を模索できるような考え方を育む。実際の環境活動などを知り、自然と人間との関係を理解する。

授業計画

- 1 回 オリエンテーション・授業の進め方
- 2 回 生物のからだを構成する物質
- 3 回 細胞の構造と働き
- 4 回 細胞の多様性と生物の階層性
- 5 回 体の受容器：眼
- 6 回 体の受容器：耳、鼻、舌、皮膚
- 7 回 ニューロン（神経細胞）
- 8 回 神経系
- 9 回 筋肉
- 10 回 動物の行動
- 11 回 体液とその循環①
- 12 回 体液とその循環②
- 13 回 肝臓
- 14 回 腎臓
- 15 回 前期期末課題
- 16 回 前期期末課題返却
- 17 回 自律神経
- 18 回 内分泌系

- 19 回 メンデルの法則と遺伝子①
- 20 回 メンデルの法則と遺伝子②
- 21 回 動物の生殖
- 22 回 動物の発生①
- 23 回 動物の発生②
- 24 回 動物の発生③
- 25 回 バイオテクノロジーの応用
- 26 回 個体群と環境
- 27 回 個体群内の相互作用
- 28 回 生物群集と個体群間の相互作用
- 29 回 バイオーム
- 30 回 植生の遷移
- 31 回 生物多様性と生態系の保全
- 32 回 後期期末課題
- 33 回 後期期末課題返却
- 34 回 生物の起源
- 35 回 まとめ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

資料配布後、課題の提出

きょうざい 教材

必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう 評価の方法

毎回の授業課題の提出をもって出席とする。前後期期末課題の提出」

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

科学館や博物館の展示物や展示パネルの解説を読む

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

生物系教科の履修経験あり

動物看護概論 II

(授業概要)

犬や猫など身近な動物における予防や健康管理について学ぶ。

科	通信制学科	教員	寺鼻 友美
コース	通信 2	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35

目標

前期

犬や猫の日常生活で注意すべき事項と予防について学ぶ

後期

前期に引き続いた内容とまたそれらを基礎とし、異常が起こった時の初期対応を知る。

授業計画

- 1回 熱中症①
- 2回 熱中症②
- 3回 熱中症③
- 4回 熱中症④
- 5回 熱中症⑤
- 6回 熱中症⑥
- 7回 狂犬病①
- 8回 狂犬病②
- 9回 狂犬病③
- 10回 犬ワクチン①
- 11回 犬ワクチン②
- 12回 犬ワクチン③
- 13回 犬ワクチン④
- 14回 犬ワクチン⑤
- 15回 前期末テスト
- 16回 前期末テスト返却(解説)
- 17回 フィラリア①
- 18回 フィラリア②

- 19回 フィラリア③
- 20回 フィラリア④
- 21回 内部寄生虫①
- 22回 内部寄生虫②
- 23回 内部寄生虫③
- 24回 内部寄生虫④
- 25回 外部寄生虫①
- 26回 外部寄生虫②
- 27回 外部寄生虫③
- 28回 外部寄生虫④
- 29回 中毒①
- 30回 中毒②
- 31回 中毒③
- 32回 後期末テスト
- 33回 後期末テスト返却(解説)
- 34回 学年末まとめ①
- 35回 学年末まとめ②

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

ワーク取り組み

きょうざい
教材

自主作成プリント教材とワーク

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり(動物看護師)

動物人間関係論Ⅱ

(授業概要)

人と動物の関係を歴史でさかのぼりながら学び、現代の動物福祉問題を幅広く知り、考えられるようにする。そして社会に出てからも問題に関心を持ち、自らの動物に対する考えを確立できるようにする。

科	通信制学科	教員	伊勢
コース	通信 2	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35

目標

前期

- ・人と動物の関係性を歴史で遡りながら把握する。
- ・現代の人の社会での動物の立場を理解する。

後期

- ・動物が人に与える影響を知る。
- ・人が動物に与える影響を知り、問題を捉え、様々な意見を通じて自ら考える力を身に付ける。

授業計画

- 1 回 現代のペット事情を知る
- 2 回 現代のペット問題を考えよう
- 3 回 ヒトと動物の歴史(日本)①
- 4 回 ヒトと動物の歴史(日本)②
- 5 回 ヒトと動物の歴史(日本)③
- 6 回 ヒトと動物の歴史(世界)①
- 7 回 ヒトと動物の歴史(世界)②
- 8 回 ヒトと動物の歴史(世界)③
- 9 回 動物福祉・動物愛護
- 10 回 法律上での動物
- 11 回 産業動物について
- 12 回 実験動物について
- 13 回 展示動物について
- 14 回 野生動物について
- 15 回 前期期末試験(実施)
- 16 回 前期期末試験(返却・解説)
- 17 回 動物が人に及ぼす影響
- 18 回 子どもと動物

19 回 高齢者と動物
20 回 罪を犯した人と動物
21 回 殺処分について①
22 回 殺処分について①
23 回 動物虐待について①
24 回 動物虐待について②
25 回 多頭飼育崩壊について①
26 回 多頭飼育崩壊について②
27 回 ペットロスについて①
28 回 ペットロスについて②
29 回 ペットの安楽死について①
30 回 ペットの安楽死について②
31 回 ペットの社会進出①
32 回 後期期末試験(実施)
33 回 後期期末試験(返却・解説)
32 回 ペットの社会進出②
35 回 振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

自主学習

きょうざい
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 しゅっせきりつ 20%（出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

栄養学Ⅱ

(授業概要)

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識、様々な疾患時の療養食の特性など、動物の状態に適合した食事管理について知識を身に着ける。

科	通信制学科	教員	伊勢
コース	通信 2	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35

目標

前期

五大栄養素について理解をする。BCS やエネルギー要求量の計算方法を身に着ける

後期

フードの歴史、種類、選び方、ライフステージ別のフードの違い、アレルギー、食べてはいけないもの、PB と NB の違いを理解し、接客できるようになる。

授業計画

- 1 回 栄養学とは/栄養を摂取するとは
- 2 回 五大栄養素（たんぱく質）
- 3 回 五大栄養素（たんぱく質）
- 4 回 五大栄養素（炭水化物）
- 5 回 五大栄養素（炭水化物）
- 6 回 五大栄養素（脂質）
- 7 回 五大栄養素（脂質）
- 8 回 五大栄養素（ビタミン）
- 9 回 五大栄養素（ビタミン）
- 10 回 五大栄養素（ミネラル）
- 11 回 五大栄養素（ミネラル）
- 12 回 ボディコンディションスコア（BCS）
- 13 回 エネルギー要求量
- 14 回 エネルギー要求量
- 15 回 前期期末試験(実施)
- 16 回 前期期末試験(返却・解説)
- 17 回 エネルギー要求量
- 18 回 フードの歴史
- 19 回 4 D/フードの種類（ドライ・セミモイスト・ウェット）

- 20 回 フードの種類（総合栄養食・栄養補助食・特別療法食）
- 21 回 パッケージの見方
- 22 回 添加物・酸化防止剤・保存料
- 23 回 ライフステージ（哺乳期・離乳期・成長期）
- 24 回 ライフステージ（維持期・高齢期）
- 25 回 食物アレルギー
- 26 回 食物アレルギー
- 27 回 犬猫が食べてはいけないもの
- 28 回 犬猫が食べてはいけないもの
- 29 回 PB と NB の違い
- 30 回 栄養と消化器官①
- 31 回 栄養と消化器官②
- 32 回 後期期末試験(実施)
- 33 回 後期期末試験(返却・解説)
- 34 回 栄養と消化器官③
- 35 回 栄養と消化器官④

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

自主学習

きょうざい
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

毎回の授業の課題の提出をもって出席とする。前後期期末課題の提出

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

魚類生理生態学Ⅱ

（授業概要）いわゆる「魚類」に含まれる円口類、軟骨魚類、硬骨魚類、について、水族館やアクアショップでの「飼育管理」ならびに「お客様への説明」に求められる生理・生態・形態の特徴の基本を理解する。また、環境に応答した魚類の生理的变化を理解した上で魚類の飼育に取り組むことができる。

か 科	通信制学科	きょういん 教 員	姉崎
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員の実務経験	×
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

①魚類がどのような「分類群」に分けられているのかを説明することができる。②魚類に共通した「形態的特徴」を説明することができる。③魚類の「飼育管理にその対象種の生理的・形態的機能を関連付ける」ことができる④課題の提出を持って出席にする。

後期

①魚類に共通した「生理的特徴」を説明することができる。②魚類の「飼育管理にその対象種の生理的・形態的機能を関連付ける」ことができる。③環境の変化が魚類の飼育に与える影響を理解し、「環境汚染が大きな問題」であることを意識できる。④水族館職員やアクアショップ店員に必要な、「他者に魚類の生理機能についての解説」が円滑にできる⑤課題の提出を持って出席にする。

授 業 計 画

- 1 回 オリエンテーション・アンケート
- 2 回 動物の生理的特徴/構造①
- 3 回 動物の生理的特徴/構造②
- 4 回 動物の生理的特徴/構造③
- 5 回 動物の生理的特徴/構造④
- 6 回 動物の生理的特徴/構造⑤
- 7 回 動物の生理的特徴/構造⑥
- 8 回 動物の生理的特徴/構造⑦
- 9 回 魚類の呼吸①
- 10 回 魚類の呼吸②
- 11 回 魚類の呼吸③
- 12 回 動物のコミュニケーション・擬態①
- 13 回 動物のコミュニケーション・擬態②
- 14 回 動物のコミュニケーション・擬態③
- 15 回 前期期末課題
- 16 回 課題返却
- 17 回 魚類の分類と系統の概要①
- 18 回 魚類の分類と系統の概要②
- 19 回 魚類の分類と系統の概要③

- 20 回 分類群別に見た魚類の特性①
- 21 回 分類群別に見た魚類の特性②
- 22 回 分類群別に見た魚類の特性③
- 23 回 骨格と機能①
- 24 回 骨格と機能②
- 25 回 形態に見られる環境適応①
- 26 回 形態に見られる環境適応②
- 27 回 回遊・浸透圧調整①
- 28 回 回遊・浸透圧調整②
- 29 回 魚病の発生①
- 30 回 魚病の発生②
- 31 回 魚病の発生③
- 32 回 後期期末課題
- 33 回 課題返却
- 34 回 有毒魚について
- 35 回 年間の振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、演習

きょうざい 教材

必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう 評価の方法

毎回の授業の課題の提出をもって出席する。前後期期末課題の提出

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

AQUA TEXT をはじめとした生物飼育施設での飼育管理、日常生活における河川や海の観察を行う

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

東海大学海洋学部環境社会学科卒業 水族館での実習経験あり

簿記

(授業概要)

企業内での財政状態・経営成績の把握、また経営上の現状認識を高め、問題点・課題点克服のために会計知識を利用することができるように、そのための目標として、日本商工会議所が主催する簿記検定の合格を目指す。

科目	通信制学科	教員	吉川
コース	通信 2	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35×3 コマ

目標

前期・後期

簿記・会計の仕組みと流れを把握し、日常取引の仕訳・転記が行えるようにする。また、決算整理の内容と意味を理解し、試算表・精算表・財務諸表を作成できるようになる。検定試験に向けて復習・対策を行い試験合格を目指す。

授業計画

- 1 回 簿記について、貸借対照表・損益計算書、簿記の 5 要素
- 2 回 商品売買
- 3 回 現金、預金、当座借越、小口現金
- 4 回 手形、電子記録債権（債務）
- 5 回 貸付金・借入金
- 6 回 その他の債権債務
- 7 回 その他の費用
- 8 回 貸倒れと貸倒引当金
- 9 回 有形固定資産と減価償却
- 10 回 株式の発行、剰余金の配当（処分）
- 11 回 法人税等と消費税
- 12 回 前払い・前受け・未払い・未収、訂正仕分け
- 13 回 帳簿への記入
- 14 回 試算表の作成
- 15 回 前期まとめ、試験対策
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 伝票・仕分日計表
- 18 回 前期振り返り
- 19 回 精算表、財務諸表

- | | |
|------|-------------|
| 20 回 | 帳簿の締め切り |
| 21 回 | 検定対策① |
| 22 回 | 検定対策② |
| 23 回 | 検定対策③ |
| 24 回 | 検定対策④ |
| 25 回 | 検定振り返り |
| 26 回 | 日商検定対策模擬試験① |
| 27 回 | 模擬試験振り返り |
| 28 回 | 日商検定対策模擬試験② |
| 29 回 | 模擬試験振り返り |
| 30 回 | 日商検定対策模擬試験③ |
| 31 回 | 模擬試験振り返り |
| 32 回 | 後期試験対策① |
| 33 回 | 後期試験対策② |
| 34 回 | 後期期末試験① |
| 35 回 | 1 年の振り返り |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
課題

きょうざい 教材
自作プリント、問題集

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

経営概論

(授業概要)

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていく上で直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

科	通信制学科	きょういん 教員	津田
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	70

目標

前期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

後期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

授業計画

- 1 回 ペットビジネスとは
- 2 回 ペットビジネスが広がっている理由
- 3 回 売上管理に使う言葉について
- 4 回 売上管理に使う言葉について
- 5 回 売り上げの成り立ち
- 6 回 入店客数について
- 7 回 平均買上点数について
- 8 回 買上客数について
- 9 回 平均買上単価について
- 10 回 POP について
- 11 回 POP について
- 12 回 売上管理 (数学)
- 13 回 売上管理 (数学)
- 14 回 前期期末試験の対策
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験の結果発表
- 17 回 前期の振り返り
- 18 回 マーケティングについて
- 19 回 マーケティングと販売の違い

- 20 回 マーケティング 1.0～5.0 とは
- 21 回 一般的なマーケティングの流れ
- 22 回 マーケティングで大事な事
- 23 回 STP 分析について
- 24 回 水平思考とは
- 25 回 水平思考について
- 26 回 消費者の満足度とは
- 27 回 4 つの価値とは
- 29 回 4 つのコストとは
- 30 回 マーケティングの 4 P について
- 31 回 バリュープロポジションとは
- 32 回 後期期末試験の対策
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 後期期末試験の結果発表
- 35 回 1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

課題配布

きょうざい
教材

資料配布

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

接客演習Ⅱ

(授業概要)

接客や売り場作成など店舗運営に必要な知識を身に着け、社会に出た際に即戦力となるように育成していく。

科	通信制学科	きょういん 教 員	津田
コース	通信 2	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

接客の「言葉使い」「お礼の角度」「立ち振る舞い」「服装」など基礎から学び、下地を作り上げていく

後期

前期で学んだ内容の振り返りを実施して、「顧客にあわせた言葉使い」「店舗にあわせた服装」など応用も把握し、どこに就職しても即戦力になるように学ぶ

授 業 計 画

- 1 回 接客 7 大用語について
- 2 回 お辞儀
- 3 回 基本姿勢
- 4 回 言葉遣い
- 5 回 言葉遣い
- 6 回 身だしなみ・服装
- 7 回 基本の接客実践
- 8 回 基本の接客実践
- 9 回 基本の接客実践
- 10 回 基本の接客実践
- 11 回 基本の接客実践
- 12 回 基本の接客実践
- 13 回 基本の接客実践
- 14 回 POP チラシ作成
- 15 回 POP チラシ作成
- 16 回 POP チラシ作成
- 17 回 POP チラシ作成
- 18 回 POP チラシ作成
- 19 回 POP チラシ作成
- 20 回 POP チラシ作成
- 21 回 ペットショップでの接客

22 回 ペットショップでの接客
23 回 ペットショップでの接客
24 回 ペットショップでの接客
25 回 ペットショップでの接客
26 回 ペットショップでの接客
27 回 ペットショップでの接客
28 回 基本の接客実践
29 回 基本の接客実践
30 回 基本の接客実践
31 回 基本の接客実践
32 回 基本の接客実践
33 回 基本の接客実践
34 回 接客課題
35 回 振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

自主学習

きょうざい
教材

資料配布

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうじょう 平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり